

風を読み、心を合わせる

感覚を研ぎ澄まし、風を読む。セーリングは、自然環境によって大きく展開が左右される競技。自然と闘い、他艇と戦い、自分と闘いながら、展開を自ら組み立てていきます。「自然と向き合いながら、いつも頭をフル回転させる。どこまでも突き詰められる奥深い競技」と今面さんは話します。

始めたきっかけは、「宇土高にはヨット部って珍しい部があるよ」という周りの一言。体験に行くと、風にあおられ何度も海に落ちたそう。そのことがかえって闘志を芽生えさせました。今面さんが乗り込む「420級」は2人乗り。操船の一番のポイントは仲間と息を合わせること。課題が見つかるたびに話し合い、次の練習で改善。「差をつけて勝てたとき、思い通りに海上を走らせたときが一番うれしい」と笑みを見せます。進学もヨット部がある大学を志望。これから風を力に変え、突き進みます。



日々、感謝と謙虚な気持ちを忘れずに

profile

平成30年度 全国高等学校総合体育大会(インターハイ)出場

いまにし ちひろ
今面 智滉 さん

平成13年1月21日生まれ。松橋町在住。宇土高3年生。主将を務めたヨット部では、九州選抜大会5位、県高等学校総合体育大会優勝、全九州高等学校体育大会8位など好成績を収める。2018福井しあわせ元気国体にも出場予定。舵取り役のスキッパーを担う。地域の伝統を守ろうと、豊年餅つき踊り保存会にも小学1年生から所属し、和太鼓を担当。

宇輝人
vol.32

宇城市で輝くあなたを紹介



1



2



3

- 1 クルーと共に懸命にゴールを目指す(左)
- 2 風上に向かって舵をとる(右)
- 3 地元の祭りにも積極的に参加

